

## 新刊書案内

# Dr.Noiseの『読む』音の本 バリアフリーと音

A5判・122頁・技報堂出版刊  
ISBN978-4-7655-3464-2

公益社団法人日本騒音制御工学会 編  
2015年1月刊

## 身近な音のバリアフリーから行動を

バリアフリーという言葉を目にする機会はとて多いと思います。本屋さんに行ってみると、バリアフリーに関する本がたくさん並んでいます。でも「音のバリアフリー」についてまとめた本というのはあまり見かけません。では、音はバリアフリーと無関係なのでしょうか？

私たちは、自分と異なる身体的特徴をもっている人や年代の違う人のことについて、深く知らないことが多いように思います。目の見えない人が一人で外出しようとする時、どんなことに困るのか、何を手がかりに行動しているのか、あるいはお年寄りが聞いている音は若い時とどう変わっているのかなど、何となく知っているような気がするけれど、実はよく理解していません。

この本は、これまであまり採り上げられてこなかった「音」の視点でバリアフリーを考え、解説しています。まず第一章ではどのように音をとらえ、感じ取り、活用しているのかを考えていきます。つぎに第二章で音のバリアフリーの実際についてさまざまな角度から紹介していきます。

中にはこんなこともバリアフリーにつながるの？ と思うこともあるかもしれません。どうぞあまりかしこまらずに、Dr.Noise、助手の静さん、騒太くんと一緒に、バリアフリーと音について考えていきましょう。



- お近くの書店にこの注文書をお持ち下さい。
- 直送をご希望の方は、小社宛にFAX(03-5217-0886)、または郵送でお申し込み下さい。
- ご請求書は別送いたします。

バリアフリーと音 定価 = 本体 2,300 円 + 消費税		個人 / 法人 *1
注文部数		部
お名前 (法人名)	(法人の場合はご所属とご担当者名)	
ご送付先 *2 〒		
お電話		
*1 個人のご購入か、法人のご購入か、○をおつけ下さい。 *2 個人のご購入で、お勤め先にお届けする場合は、お勤め先の名称・読仮名、所属部署もお書き下さい。 【必要書類】 見積書 通 / 納品書 通 / 請求書 通		

# 主要目次

刊行にあたって

はじめに

- 音のバリアフリーって何だろう？
- バリアフリーとは？

## 第1章 人と音

### I 節 視覚障害と音

- 「目が見えない」とはどういう状況なのでしょう？  
Dr. Noiseの解説——視覚障害について
- 視覚障害と音
- 視覚障害者は耳がよいというのは本当？  
コラム——音楽家は耳がよい？
- 目の見えない人、見えにくい人にとっての音の役割は？  
Dr. Noiseの解説——目の見えない人の周辺環境に対するイメージ
- 目の見えない人の周辺環境のイメージと音の利用
- 安全な外出のための音の利用  
Dr. Noiseの解説——エンジン音で車に気づく
- 音によるオリエンテーション
- 音と方向
- ブラインドウォークをしてみると
- 点字の案内はどれくらい役に立っているのか？  
Dr. Noiseの解説——なぜ純音ではだめなのだろう？  
コラム——最近の路面・床面の触覚情報はなし

### II 節 聴覚障害と音

- 「耳が聞こえない」とはどういう状況なのでしょう？
- 聴力とは？
- 聴覚障害の程度と種類
- 時間分解能・周波数選択性の低下  
Dr. Noiseの解説——手話と筆談
- 補聴器の使い方  
Dr. Noiseの解説——人工内耳
- 骨で音を聞く
- 聴覚障害者への情報伝達  
コラム——聴力は回復できる？

### III 節 加齢と音

- 「耳が遠くなる」とは？
- 気づかれにくい聴力の加齢変化
- 騒音評価と高齢者の聞こえ
- 悪条件（騒音、残響）に弱い高齢者の耳
- 大きい声で話し掛ければよいわけではない  
コラム——音の悪条件を克服するデザイン事例

### IV 節 言葉と音

- 外国語に対するバリア
- カタカナ言葉と専門用語

## 第2章 音のバリアフリーの実際

### I 節 音環境の考え方

- 音のもつ情報を引き出す音環境とは
- 音環境をデザインする
- 音環境のユニバーサルデザイン

### II 節 公共の空間

- 音響式信号機の現状
- 誘導鈴とは？
- 発車ベルから発車サイン音へ
- 駅の構内放送をより聞き取りやすくするには
- 商業施設と音によるランドマーク
- 直感的に状況を理解させる音
- 触知案内板と音声案内
- 音による避難誘導
- 防災無線による避難誘導

### III 節 生活空間

- 家電製品の報知音
- 聞こえない「ピーッ」という報知音
- 話速変換とは？
- 字幕放送と手話放送
- 聴覚障害者とのコミュニケーション

おわりに

